



能代高校東京同窓会会報 第 16 号

奮え松陵、我が健児

発行日：平成 18 年 9 月 1 日
発行：能代高校東京同窓会
責任者：太田 勝 治
編集：広報委員会
印刷：大森太田印刷 (有)

平成 18 年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】 平成 18 年 10 月 7 日 (土)

- 受付 12:00~
- 総会 12:30~
- 懇親会 13:15~
- 林家たい平師匠独演ライブ

【場所】 アルカディア市ケ谷 (私学会館)

J R 市ケ谷駅下車、地下鉄新宿線・有楽町線
(A1-1、A4 出口)

南北線 (A1-1 出口) 市ケ谷駅下車約 3 分

TEL. 03-3261-9921

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

【懇親会会費】 男性 7,000 円 女性 5,000 円

【年会費】 3,000 円 (お振込いただいた方を除き、当日受付にて受領いたします。)

【出欠】 同封のハガキに記入して 9 月 20 日 (水) までに投函してください。

【連絡先：太田印刷内】

電話 03-3765-1779

FAX 03-3766-1228

E-mail: ota-p@nifty.com

※ 1 年会費に世帯制を導入

夫婦揃って同窓生の場合は、1 名の年会費を免除。

※ 2 総会初参加者は年会費免除の特例

総会 & 懇親会に出席する場合、初参加に限り年会費を免除。

詳細は P13 の幹事会報告を御覧下さい。

ゲスト 林家たい平師匠プロフィール

経歴 昭和 39 年 12 月生まれ

昭和 62 年 武蔵野美術大学造形学部卒業

昭和 63 年 林家こん平師匠に入門

林家たい平を名乗る

平成 4 年 ニツ目昇進

平成 12 年 真打昇進

平成 16 年 花形演芸会金賞受賞

レギュラー番組

・日本テレビ「笑点」大喜利メンバー

・BS日テレ「BS笑点」

・ニッポン放送「テリー伊藤のってけラジオ」月～金

・NHK ラジオ「今夜も大入り！渋谷・極楽亭」土曜日

・文化放送「林家たい平の笑チュウ劇場」日曜日



林家伝統のサービス精神あふれる芸風を受け継ぎ、「たい平ワールド」と呼ばれる楽しさ満点の高座が高い評価を得ており、NHKの新人賞を始め若手落語家の賞を総ナメにした。真打昇進後も「たい平落語」のさらなる飛躍をめざし、年 6 回おこなう自らの独演会を中心に、全国での落語会の他、ラジオ、テレビの出演も数多くこなしている。地元の秩父にて会員約 2000 人の「林家たい平後援会」あり。出身地の秩父と祭りを愛する男。

(林家たい平師匠のHPより抜粋)

詳細は師匠のHP「天下たい平」http://www.geocities.jp/taihei_rakugo/をご覧ください。

注目される東京同窓会

能代高校東京同窓会長 太田 勝治



昨年の総会において会長に選出された 29 期生の太田勝治です。少しでも会のためにという意気込みはありますが、逆に重責を感じています。この同窓会を維持し更に発展させるのは会長ではありません。大勢の会員と役員の方々の皆さんとの緊密な協力が 1 番大切です。どうぞ宜しくお願い致します。

●総会を盛り上げよう

同窓会の 1 番のイベントは総会、懇親会です。総会参加者は昨年は 100 名前後でした。同窓会活動の成功は総会、懇親会を盛り上げることも一つです。

今年は少しでも多くの参加者が増えるよう、各委員会それぞれが活動して来ました。総会の内容なども若手が中心になって工夫を凝らしています。一度参加したら、来年も是非参加したい、という内容です。その成果が出来るとうれしいです。

●自制心を高めよう

諸先輩方の努力のおかげで、最近、女性を含めた若手の会員が結構増えました。本当にうれしいことです。女性、若手、中堅、ベテランとバランスのとれた会員が多いほど、会の発展の力となります。

これは他校でのことですが、女性に対してのセクハラや後輩のいじめ等が大きな問題になりました。懇親会の席等で、女性会員にお酌を強要したり、むやみに体に触れたりすることは今では「セクハラ」ということで厳しくチェックされています。また、後輩に対してのちょっとした心無い言葉がいじめとして誤解されてしまうこともあります。かつてのバンカラな考えは通用しなくなりました。せっかく参加してくれた同窓生をセクハラやいじめで、退会させたり、悪い噂が出ることは 1 番注意しなければなりません。後輩や女性を差別せず、一人の人格者として尊敬しましょう。

最近、当同窓会のブログやホームページ等を通じて東京同窓会は他校同窓会や郷里等から大変注目されています。ちょっとした不注意でも悪いことはすぐ知れ渡ります。お互いに十分な自制心を持って和気あいあいとした会を維持していきたいと思ひます。

将来構想

能代高等学校長 井上 高廣



東京同窓会の皆様には常日頃より多くのご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

能代高校は、4 月の始業式に始まり、5～6 月には県北・全県総体、第 1 回考査、学校祭・校内体育大会と行事が続きました。その間も生徒は進路目標に向かって朝学習や土曜補習、模擬試験などに取り組み、8 月現在は、夏休みを迎え連日補習授業を頑張っております。

今年の運動部は東北大会まで沢山の駒を進めたのですが、インターハイ出場は体操部(団体、個人)、柔道部(女子 1 人)と少々寂しい状況でした。しかし、文化部の活躍は華々しく、無線部、放送部、囲碁・将棋部、弁論部が全国大会に出場します。

硬式野球部は春の県北大会は圧倒的な強さで優勝し、全県選抜では準優勝を果たし東北大会に出場しました。本校はこれまで 14 年周期で甲子園に出場しているようで、前回出場の平成 4 年から 14 年目の今年、期待したのですが甲子園予選は 3 回戦で敗れてしまいました。軟式野球部も県大会準優勝で北東北大会出場を果たし、1 回戦青森第 1 代表を 13 対 0 で圧勝しながら 2 回戦で負けてしまい、全国大会出場を逃しました。

校是であるところの「文武両道」を果たすべく進学の実績も伸びております。平成 18 年 3 月に理数科の一期生が卒業し、この生徒達の活躍を中心に学年が一体となった成果で、5 年ぶりに国公立 107 名と 100 名の大台を超え、進学率(短大以上)も 73.3% となっております。

現在、旧能代市内に 5 つの高等学校があり、能代高校だけは単独で残るのですが、能代北高と能代商業、能代工業と能代西がそれぞれ統合し 3 校となります。このように学校の置かれている状況が大きく変わろうとしている時、本校がより存在感のある学校になるため、将来構想を検討しております。地域や日本の発展のため、有為な人材を沢山社会に送り出せる学校を目指したいと思ひます。将来どの様な生き方をしたいのか、そのためには高校生活をどの様に過ごさなければいけないかを考えさせ、しっかりした目標を持たせて自ら自発的に勉強や部活動に励ませたいと考えています。校内だけではなく校外の多くの方達にもご協力を得たいと思ひますのでその節は宜しくお願いいたします。

東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を衷心より祈念申し上げます。

東京同窓会の皆様へ

能代高校同窓会長 田中 仁純



東京同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年は創立 80 周ということで畠前会長様、太田会長様はじめ多くの会員のご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

ご存知のように能代市は幾多の紆余曲折を経ましたが 3 月 21 日をもって二ツ井町と合併致し、人口 63,000 人の新能代市としてスタートしました。その後、市長選、市議選等がありました。皆様には東の彼方から成り行きを見守って来られたことと思います。

最近彩香ちゃん、豪憲君の事件で、隣の藤里町のことで、米代川流域の関連から能代市の名前がメディアを通じて全国に紹介され一躍有名になった感があります。悲しい疎しい事件であり、1 日も早く決着してもらいたい気持ちで日々過ごしていますが、皆様はどのように感じておられるでしょうか。

今年も梅雨が明ければ短い能代の夏ですが、7 月 15 日から甲子園予戦が始まりました。母校は第 2 シードとして、好投手畠山君、全県一のスラガー田村君等厚い選手層で久々に甲子園をうかがえるチームでしたが、宿敵金足農業戦に夢を断たれました。しかしここに来て力をつけて来ており、大いに期待しているところです。

かねてから東京同窓会の指導もあり、ホームページの立ち上げについてようやく実施する運びとなりました。東京同窓会のホームページの充実ぶりが「秋田魁新報」に掲載され刺激されたのも事実ですが、その中で、吉田真由美さんの女性の同窓生の輪を拓げるためのブログの書き手としての活躍にも注目しました。

24 期生を 1 期生とする女性会員も 3,000 名に達しました。その組織が会の中心的存在となることを期待し、多くの女性幹事の登用を検討しています。また、樽子山の「青春の碑」も外構整備を進めて 9 月 20 日前後の同窓会総会に合わせて除幕式を予定しています。

首都圏の景気に比べていまひとつの能代ですが、元気に頑張っています。東京同窓会も松陵健児の気概で益々発展されますようご祈念申し上げます。

秋高連幹事長就任に際して

第 26 期 監査役 畠山 信孝



平成 18 年 4 月の役員改選に於て、在京秋田県高等学校同窓会連合会 (秋高連) の幹事長を拝命することになりました。今年で秋高連も設立以来 21 年になりますが、21 年ぶりに県北より友成穂秀氏 (能代西高校関東同窓会) が会長に選出されました。

私事で誠に恐縮ですが小生、昨年 8 月に S 状結腸ガンの為、全摘出手術を受けました。己の不摂生により畠前会長はじめ役員の方々、皆様は大変ご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。お蔭様にて手術後の経過も良好なので、秋高連設立当初より長年にわたり活動に加わって尽力されました前事務局長の八柳昭義氏の意志を引継ぐべく、要請を受け入れた次第であります。

現在、秋高連にはオプザーバー校を含め、首都圏にある県下同窓会 47 校が傘下にあります。会員総数は 12 万人弱と推定されるところであります。各ふるさと会をたばねる首都圏秋田県人会連合会が縦の組織とするならば秋高連はさしずめ横の組織と云ったところでしょうか。

今年度の全体総会は 7 月 12 日 (水) 37 校 289 名の参加のもと開催することができました。今年は秋田県教育庁より根岸均教育長にご出席戴き、秋田県下の高校再編及び今後の整備計画等につき 40 分にわたり講演を聞くことができました。少子化により県下の高校の数が減って行く事はさびしい限りであります。時代の趨勢でやむを得ぬ事と思います。

秋高連は当面の問題として来年秋田で行われる「わか杉国体」に向けて秋高連として何ができるか、ただ今委員会に於て鋭意検討中であります。いささかでも郷土秋田に貢献できれば幸いです。

能代高校東京同窓会の会員の皆様あつての秋高連幹事長であります。何卒、今後とも格別のご高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成 17 年度 総会・懇親会の様子

平成 17 年度東京同窓会総会並びに懇親会は、平成 17 年 (2005)10 月 15 日、アルカディア市ヶ谷において行われました。総会の前に開催した講演会には、在校中にバレーボール全日本高校選手権大会に出場して全国制覇の偉業をなし遂げた菅原貞敬氏 (27 期) を講師に迎え、ユーモアたっぷりのお話を伺いました。

懇親会は今回も担当役員と共に五日会が中心となって運営され、初めての試みである「クイズ：ミンナで考えよう」を実施。クイズ作家の大高ゆきお氏 (29 期) が出題する珍問?に頭を悩ませながらも、期を越えて同窓生同士が楽しい時間を過ごしました。



